

第21回  
千葉総合病院精神科研究会  
プログラム

日時 平成28年4月16日(土)  
13:30~18:00(13:00開場)  
会場 千葉市文化センター 5F セミナー室

シンポジウム「気分障害に対する診断と治療の最前線」

懇親会 18:00~20:00

三井ガーデンホテル千葉 2F パスチオーナ

担当世話人

日本医科大学千葉北総病院 メンタルヘルス科

研究会会場案内：千葉市文化センター 5F セミナー室

〒260-0013 千葉市中央区中央 2-5-1 TEL043-224-8211



〈電車をご利用の場合〉

- JR総武線「千葉駅」、京成千葉線「千葉中央駅」より徒歩10分

〈千葉都市モノレールをご利用の場合〉

- 「葭川公園駅」下車徒歩3分

〈バスをご利用の場合〉

- 「千葉銀行中央支店」バス停下車徒歩1分
- 千葉駅から 系統番号 千01, 千02, 千05, 千06, 千07, つ02 「千葉銀行中央支店」下車
- 「中央2丁目」バス停下車徒歩3分
- 千葉駅より 系統番号 千03, 千03-1, 千04 「中央二丁目」下車

〈車をご利用の場合〉

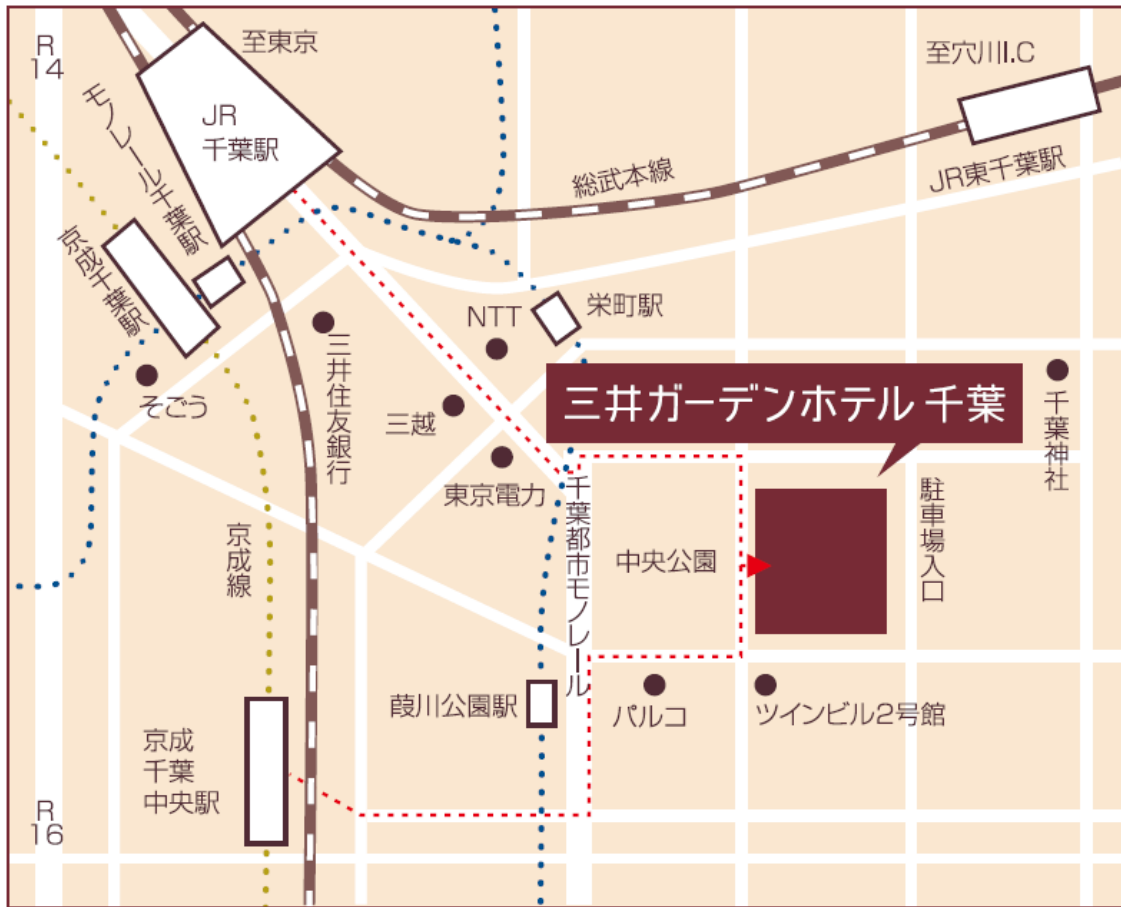
- 京葉道路「穴川インターチェンジ」から約20分

〈駐車・駐輪場について〉

- 千葉市文化センター(千葉中央ツインビル2号館)  
地階 有料駐車場 午前8時～午後11時  
※大型車の駐車はできません。(車高1.55m、車幅1.75mまで)

懇親会会場案内 三井ガーデンホテル千葉 2F パスチオーナ

〒260-8626 千葉市中央区中央 1-11-1 TEL:043-224-1131



※研究会会場の千葉市文化センターから道を隔てて徒歩 1 分

## お知らせ

### 1. 口演時間等

一般演題は、発表時間 7 分、質疑応答 3 分以内、シンポジウムは、発表時間 15 分、総合討論 15 分、教育講演と特別講演は講演時間 35 分、質疑応答 5 分とさせていただきます。時間厳守でお願いいたします。

### 2. プロジェクター

発表は前回同様 PC プロジェクターを用いたと思いますが、当日使用する PC は Microsoft Power Point 2013 (Windows 7) を予定しております。

### 3. 参加費

研究会への参加費は 1,000 円となっております。会の運営を円滑にするため、会員の方は、別途年会費 1,000 円も合わせて徴収させていただきたいと思っております。当日受付にてお支払い下さいますようお願い申し上げます。懇親会費は医師 3,000 円、その他（コメディカル等）2,000 円です。

### 4. 参加について

事前申し込ただけではなく、当日直接ご参加いただいても結構です。懇親会も当日ご参加いただけます。

### 5. 専門医ポイント・単位

本研究会は日本総合病院精神医学会の地方会等組織として認定されており、日本総合病院精神医学会専門医ポイント 10 点のほか日本精神神経学会専門医制度 C 群 1 単位を得る事が出来ます。当日日本精神神経学会専門医認定試験合格者証を必ずご持参ください。また、日本総合病院精神医学会専門医ポイントについては当日参加証をお渡ししますので保管してください。

手続きについては、受付にお問い合わせください。

### 6. 研究会事務局

日本医科大学千葉北総病院メンタルヘルス科

当番世話人 木村真人

事務局担当 秋山友美

〒270-1694 千葉県印西市鎌苅 1715

TEL: 0476-99-1111 (代表)

FAX: 0476-99-1926 (医局)

E-mail: [cghp21@gmail.com](mailto:cghp21@gmail.com)

プログラム

13:00 開場

13:25 開会の挨拶

佐藤 茂樹 (成田赤十字病院 精神神経科)

13:30~14:20 【一般演題 1】 (発表7分 質疑3分)

座長 早川達郎 (国立国際医療研究センター国府台病院)

1. 臨床心理士がリエゾン活動でやっていること~当院での介入事例を通して~  
○富安哲也 (トミヤス・テツヤ)<sup>1)</sup>、大上俊彦<sup>2)</sup>、小石川比良来<sup>2)</sup>  
1) 亀田総合病院 臨床心理室  
2) 亀田総合病院 心療内科・精神科
2. 思春期反応性愛着障害児の小児一般病棟マネジメント  
○敦賀壮太 (ツルガ・ソウタ)、横田瑛子、井原祐子、花岡晋平、安藤咲穂  
千葉県こども病院 精神科
3. 慢性アルコール中毒による橋中心髄鞘崩壊症  
○田中辰樹 (タナカ・タツキ)、加藤あい、澤村智子、久保嶋哲郎、宮川晃一  
順天堂浦安病院 メンタルクリニック
4. 身体表現性障害で当科加療中に、レビー小体型認知症の診断に至った一例  
○片倉勲人 (カタクラ・ヒロト)、岡部 究、岩下正幸、杉田ゆみ子、稲村圭亮、  
小堀聡久、落合結介、小川佳那、古川はるこ、忽滑谷和孝、中山和彦  
東京慈恵会医科大学 精神科
5. 成田赤十字病院におけるクロザピン使用状況  
○小池 香 (コイケ・カオリ)、富田陽子、平野嘉子、太田貴代光、赤田弘一、  
斎賀孝久、佐藤茂樹  
成田赤十字病院精神神経科

14:20~15:00 【一般演題 2】 (発表7分 質疑3分)

座長 忽滑谷和孝 (東京慈恵会医科大学附属柏病院 精神神経科)

6. 服薬アドヒアランス不良のてんかん患者に急性精神病症状が生じた一例  
○山本喜久 (ヤマモト・ヨシヒサ)、黒木宣夫、桂川修一、林 果林、藤井 悠、  
鈴木恵子  
東邦大学医療センター佐倉病院 メンタルヘルスクリニック
7. 双極性障害の診断から診断再考したことにより急速に症状の改善を認めた一例  
○大岩宜博 (オオイワ・タカヒロ)、野々村司  
千葉市立青葉病院 精神科
8. コータル症候群を呈した重症うつ病に対し、電気けいれん療法が著効した1例  
○藤本泰樹 (フジモト・タイキ)、鈴木雅之、守屋洋紀、石澤純平、池森紀夫、  
下田健吾、木村真人  
日本医科大学千葉北総病院 メンタルヘルス科
9. 気分障害を対象とした電気けいれん療法について過去11年間を振り返る  
○榎本哲郎 (エノモト・テツロウ)、白石健、伊藤寿彦、中島常夫、鶴重順康、  
水田康彦、中野知恵子、草西俊、吉見太郎、佐藤護、柳澤雄太、箱島有輝、近藤忠之、  
西村俊哉、七澤英毅、竹内悠、早川達郎、塚田和美  
国立国際医療研究センター国府台病院

15:00~15:10 休憩(10分)

15:10~15:50 【教育講演】(講演 35分 質疑 5分)

座長 桂川修一(東邦大学医療センター佐倉病院 メンタルヘルスクリニック)

「せん妄の最近の話題」

岸 泰宏(キシ・ヤスヒロ)

(日本医科大学武蔵小杉病院 精神科)

15:50~17:20 【シンポジウム】(発表 15分、総合討論 15分)

「気分障害に対する診断と治療の最前線」

座長 木村真人(日本医科大学千葉北総病院 メンタルヘルス科)

1. NIRSによる気分障害の病態研究

～うつ状態の病態比較とmECT前後の前頭側頭機能比較～

○肥田道彦(コエダ・ミチヒコ)<sup>1)</sup>、秋山友美<sup>2)</sup>、下田健吾<sup>2)</sup>、木村真人<sup>2)</sup>、  
大久保善朗<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup> 日本医科大学付属病院 精神神経科

<sup>2)</sup> 日本医科大学千葉北総病院 メンタルヘルス科

2. 児童思春期気分障害とバイオマーカー～BDNF・MMP-9・オキシトシンについて～

○佐々木剛(ササキ・ツヨシ)

千葉大学医学部附属病院 こどものこころ診療部

3. 気分障害の認知行動療法の新しい試み～コンパッション・フォーカスト・セラピー～

○浅野憲一(アサノ・ケンイチ)

千葉大学 こどものこころの発達教育研究センター

4. 反復経頭蓋磁気刺激(rTMS)

○鬼頭伸輔(キトウ・シンスケ)

国立精神・神経医療研究センター病院 精神先進医療科

5. レジリエンスの視点で今日のうつ病治療を考えてみる

～当院のホリスティック医療での実践を通しての考察～

○信田広晶(シノダ・ヒロアキ)

しのだの森ホスピタル

17:20~18:00 【特別講演】(講演 35分、質疑 5分)

座長 齋賀孝久(成田赤十字病院 精神神経科)

「総合病院精神科医療の現状と今後に向けて」

黒木宣夫(クロキ・ノブオ)

(東邦大学医療センター佐倉病院 メンタルヘルスクリニック)

18:00 閉会の挨拶 木村真人(日本医科大学千葉北総病院 メンタルヘルス科)

\*研究会終了後、懇親会場に移動してください。